

あうんだより

デイサービスセンターあうん広報 / 令和6年9月

相談員 杉澤 琴美

秋の気配が日増しに強くなるこの時期。つい先日まで暑い暑いと言っていたのに、利用者さんの心は早くも、来るべき冬の備えになっています。今号では、元気に過ごした8月の活動を振り返っていきます！

あうん夏まつり



「秋大根の種を撒くなら、名寄まつりの頃に」「名寄まつりが終わると朝晩寒くなる」利用者さんからこんなお話が出るほど生活の一部として馴染んでいる名寄まつり。露店がびっしりと立ち並び、見世物小屋やバイクサーカスが来ていた盛大なお祭りの風景は輝かしい思い出となっている反面、年齢を重ねていくにつれて縁遠くなり足を運ぶことが無くなっていくようです。そんな皆様に少しでもお祭り気分を味わっていただきたく、あうんではお盆の只中の14日、あうん夏まつりを開催しました！

スタッフは赤・青・黄色の法被を着て、トランプでもわっしょい！ビンゴでもわっしょい！！いつも以上に景気よくゲームを盛り立てます。

昼食と3時のお茶の時間には、露店をイメージしたメニューをご用意。いつもと違う雰囲気での食を楽しんでいただきました。

チョコバナナを一口かじると崩壊したり、瓶ラムネを飲もうとするとともになくビー玉が邪魔してきたり。難易度高めです。

あうんの食事は普段は噛みやすさ飲み込みやすさを重視しているのですが、このように攻略が難しい食べ物が出てくることでちょっとした特別感、非日常感を味わっていただきたい。それが行事の醍醐味というもの！！

露店の店主コントが突然繰り広げられてみたり、恐る恐る瓶ラムネの栓を開ける仕草で皆さんに笑顔が広がったり。こんなに楽しめるなら、もっと飾りつけや催し物を工夫してみたらいいかも…。来年に向けて、スタッフの士気も上がっています！！



ひまわり見物



15日、サンピラーパークで開催されていた名寄ひまわりまつりに出かけてきました。猛暑の合間のちょうどよい曇天、ドライブ日和です。

サンピラーパークが整備されてから20年弱。ひまわりまつり会場は立派なテントが設営されて観光客も大勢。利用者さんたちにとっては「ここはどこ？」という雰囲気です。

NAYOROの大きなモニュメントの前で、ひまわりに負けない笑顔で記念撮影。前日の雨のおかげで元気いっぱいのひまわりたちにエネルギーをもらってきました。

屋外での活動が少ないあうんですが、四季折々の風景を眺めて外の空気を感じることも大切なことだと考えています。帰りの車中の中にて、ある利用者さんが「ドライブ楽しかった！」と何度も言ってくださった言葉に、外出の重要性がよく表れています。

ちなみに、春にあうん畑に植えたひまわりも時を同じくして満開を迎えていました。現在は花期を終えましたが、ズメが種を食べに来て利用者さんの日を楽しませてくれています。



日々の食卓より



今年にあうん農園で初挑戦したゴーヤ。毎日色々なレシピで昼食に登場していましたが、最初で最後のスイーツとしての登場です。その名も「ゴーヤケーキ」！！

すごく青くてすごく苦い味を想像していたのですが、食べてみると案外クセがなく、ほんのり感じるほろ苦さ。…これはアリかもしれない！？

あうんがスイーツを販売するなら間違いなくコレですね。大手コンビニに並ぶ日が来るかもしれません。



こぼれ話

あうんは現在、漬物プロジェクトが進行中。インターネットに頼らずに、利用者さんに全て教えていただいて美味しいきゅうりの粕漬を目指しています。利用者さんたちが当たり前にしてきたことが、私たちスタッフの世代には未知の世界のことが度々あります。きゅうりを塩漬にする作業ひとつ取っても、なんと手間のかかることでしょうか。親から子へ伝授されたり、友人知人から教わったりして、連綿と続いてきた技術。それはとても凄いことのはずなのに、当たり前のことだと注目されてこなかったことが不思議なほどです。利用者さんの広い胸をお借りして、私たちも経験値を上げていきますよ！

活動の様子はインスタグラムでも公開中 →



DAY.CARE.AUN